

Campus France 短期語学留学プログラム参加報告書（広島大学）

氏名	
所属学部・研究科	生物生産 学部/研究科 2 年次
学生番号	
留学先語学学校	サン＝テティエンヌ大学附属語学・文明国際センター
プログラム期間	2024年2月26日 ～ 2024年3月22日

1. 渡航について

出国年月日	2024年 2月 23日
経路	関西国際空港→ドバイ空港→リヨン・サン・テグジュペリ空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) ・その他 <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2024年 3月 28日
経路	パリ・シャルルドゴール空港→ドバイ空港→関西国際空港

2. 所要経費について

所要経費	総額	940,000	円	
	内訳	交通費	280,000	円
		プログラム費	450,000	円
		旅行(パリ)費	150,000	円
		観光(博物館・カフェなど)費	50,000	円
		交通費(現地)費	10,000	円

3. 参加プログラムに関する感想（広島大学用）

今回のプログラムで、私はホームステイでの生活を選択しました。ホストファミリーは優しいご両親と三人のかわいいお子さんがいるご家庭で、一か月間さみしい思いをすることなく楽しく過ごせました。私はフランス語初心者であったため、この短期留学で著しくフランス語ができるようになったわけではありません。しかし、はじめはホストファミリーとスマートフォンの翻訳機能を使って会話していたところから、最後は英語を交えながら片言のフランス語での会話ができるようになるまで成長しました。現地の言葉で会話できることがこんなにうれしく楽しいことを実感できる機会はめったにないため貴重な体験でした。学校でのプログラムは日本人のクラスでの授業でわからないことがあればすぐに周りに確認できる点が良かったです。先生方も一人一人にしっかり向き合ってくれて、充実した授業でした。他国の留学生クラスとの交流では私はほとんど英語を使って会話をしていました。時々、片言のフランス語で私が何か伝えようとする一生懸命に理解してくれようとしてくれるので自信がないフランス語を発することの不安がほとんどなく、授業で覚えた新しいフレーズを積極的に使って交流しました。伝えたいことがスムーズに伝えられないことの歯がゆさは何度も体験しましたが、それもこの留学で得られた良い経験です。休みの日はホストファミリーとショッピングモールに出かけたり、リヨンに遊びに行ったりしました。フランスの町並みは日本と全く違いくちを歩いていてもワクワクしていました。この留学でフランス語を学べたことはもちろん、フランスの文化や価値観を学べたことは今後の人生にプラスの経験でした。この留学で一か月間お世話になったホストファミリーと学校の先生方には感謝しきれません。

注) 1. 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、広島大学HPへの掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。